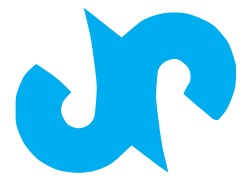


商工春秋



四日市商工会議所広報

東海道五拾三次 四日市 「狂歌入東海道」



歌川広重 筆

狂歌入東海道の別称を持つシリーズのひとつ。泊村の日永の追分を京に向かって進むと、内部川にかかる橋がある。この橋を渡り、さらに進むと、ヤマタケルの伝承で知られる杖衝坂がある。絵と狂歌は、これを表している。旅人の中に、金毘羅詣りの女性や、伊勢参宮の抜け詣りの子どもたちがいる。満開の梅から、旅が春を中心に行われていたことを窺わせる。上半身のみ描かれる橋上の旅人が、土橋の勾配を印象付ける。狂歌は「梅が香に袖ふりあふて泊り村 つえつき坂をのぼる旅人」である。（市立博物館学芸員・田中伸一）

浮世絵に
描かれた
四日市

四日市市立博物館蔵

平成27年

6月号

5月25日
発行

主な内容

No.734

- ◆ 27年度会員・共済制度増強キャンペーン … P 4
- ◆ 三重の就職セミナー開催 …… P 5
- ◆ 四日市萬古まつり …… P 6
- ◆ 四日市萬古陶磁器コンペ …… P 6
- ◆ 中小企業相談所コーナー …… P 7
- ◆ 会員 & 企業ひろば …… P 8～9
- ◆ 女性部・青年部コーナー …… P 10
- ◆ 自由席（清水酔月氏） …… P 11
- ◆ 続・よっかいち歴史浪漫紀行（北野保氏） … P 12
- ◆ 新茶の初市 …… P 13